

平成22年度 事業報告書

社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会

総括	1
実施事業の概要	1
I だれもが暮らしやすい地域づくりの推進	4
1. 地区社会福祉協議会への支援	4
(1) 地区社会福祉協議会長研修会の開催	4
(2) 地域別ブロック地区会長会議の開催	4
(3) ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業への支援	4
(4) ひとり暮らし男性高齢者調理講習会事業を実施した地区社協への助成	5
(5) 広報紙を発行した地区社協への助成	5
(6) 地区福祉まつりを実施した地区社協への助成	5
2. 福祉協力員の活動促進及び研修の実施	5
(1) 福祉協力員制度の推進	5
(2) 福祉協力員全体研修会の開催	6
3. 在宅福祉サービス事業の充実・強化	6
(1) 福祉理美容サービス事業（出張費補助）	6
(2) ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業	6
(3) 在宅介護者のつどいの開催	6
(4) ファミリーケアサービス事業の促進	7
(5) 福祉車両貸出事業	7
4. 第2次地域福祉活動計画の策定	7
II 安心して生活できる地域福祉の推進	8
1. 福祉拠点の充実強化	8
2. 福祉啓発活動の推進	8
3. 地域福祉サービス事業の充実・強化	8
(1) 総合相談センターの開設	8
(2) 訪問介護員養成研修の実施（2級課程）	9
(3) 福祉機器・介護用品展示室の開設	9
(4) 援護事業の実施	9
(5) 身体障がい者福祉バス「友愛号」の運営	9
(6) 移送サービス事業	10
(7) 障がい者生活支援事業「障がい者生活支援センター」	10
(8) 地域包括支援センター	10
(9) 日中一時支援事業	11
(10) ゆうあいひろば	12
4. 日常生活自立支援事業「あすてらす・うつのみや」	12
5. 介護保険事業の実施	13
(1) 居宅介護支援事業	13
(2) 訪問介護事業	13
(3) 介護予防訪問介護事業	14
(4) 訪問入浴介護事業	14

(5) 介護予防訪問入浴介護事業	15
(6) 通所介護事業	15
(7) 介護予防通所介護事業	15
(8) 障がい者福祉サービス	16
6. 貸付事業による自立支援の推進	16
(1) 生活福祉資金貸付事業	16
(2) 社会福祉資金の貸付	17
III ボランティア活動・市民活動の推進	17
1. ボランティアセンターの運営	17
(1) ボランティアセンター機能の充実強化及び支援	17
IV 指定管理施設の管理・経営	22
1. 指定管理施設の管理・経営	22
(1) 老人福祉センター	22
(2) 障がい者福祉センター	26
(3) 地域活動支援センター	28
(4) 総合福祉センター	28
(5) 茂原健康交流センター	28
V 関係機関・団体等と協働・連携	29
1. 関係機関・団体等と協働・連携	29
(1) 各種行事助成	29
(2) 各種団体に対する補助	29
(3) 各種事業に対する共催・後援	29
VI 地域福祉を支える基盤の強化	31
1. 組織体制の強化	31
(1) 会務の運営	31
2. 運営基盤の強化	34
(1) 組織の強化	34
(2) ぎんなん基金寄付金状況	35
(3) 各種募金等	35

総 括

近年、私たちを取り巻く環境は日々変化しており、少子高齢化の進行、家族形態の変化、価値観・ライフスタイルの多様化などにより、家族や公的制度だけでは対応できない様々な問題が発生しており、これらの問題に対し地域全体で取り組むことが求められています。

このため、本会では住民参加を主体とした地域福祉活動を推進する団体として、誰もが住み慣れた地域で自立した心豊かな生活が送れるよう、ともに支えあい助けあいながら安心して暮らし続けることができる地域社会の実現を目指し、様々な福祉事業や福祉活動を実施しました。

実施事業の概要

I だれもが暮らしやすい地域づくりの推進

すべての人にやさしい福祉のまちづくりを実現するために、社会福祉協議会・地区社会福祉協議会・福祉協力員が核となって地域福祉活動を積極的に展開し、地域福祉の総合的な組織化に取り組みました。

1. 地区社会福祉協議会への支援

各種研修会の開催及び地区社会福祉協議会で実施する事業への助成等を行い、地区社会福祉協議会の充実及び事業運営の支援を図りました。

2. 福祉協力員の活動促進及び研修の実施

地区で活動する福祉協力員に対し、研修会の開催及び活動費の助成等を行い、福祉協力員の活動の充実を図りました。

3. 在宅福祉サービス事業の充実・強化

在宅で自立した生活が続けられるよう、在宅福祉サービス事業の充実・強化に取り組みました。

4. 第2次地域福祉活動計画の策定

前計画における成果と課題を分析し、今日的な多様化した福祉ニーズを踏まえ、第2次地域福祉活動計画（平成22年度から平成24年度）を策定しました。

II 安心して生活できる地域福祉の推進

「誰もが、住み慣れた家庭や地域で、その人らしく、安心して自立した生活が送れるための支えあい社会」の実現に向けた事業を進めました。また総合相談事業や権利擁護事業など自立を支えるサービスの充実に努め、生活相談や支援体制づくりを行いました。

1. 福祉拠点の充実強化

老人福祉センター(5施設)、地域活動支援センター(3施設)、総合福祉センター(2施設)、茂原健康交流センター(1施設)を地域の福祉拠点として、福祉情報の提供及び地域福祉事業等を行いました。

2. 福祉啓発活動の推進

広報紙及びホームページを活用し、福祉に関する講座・イベント情報や在宅福祉サービス事業・地域福祉サービス事業などを随時掲載し、総合的な福祉情報の提供に取り組みました。

3. 地域福祉サービス事業の充実・強化

住民が安心して暮らせる福祉の環境づくりに努め、地域福祉サービス事業の充実・強化に取り組みました。

4. 権利擁護センター「あすてらす・うつのみや」の充実・強化

とちぎ権利擁護センターの基幹的社会福祉協議会として、日常生活自立支援事業を行うと共に、広域支援体制を充実しました。

5. 介護保険事業の実施

介護保険法に基づき、要介護者等の心身の状況にふさわしい介護サービスを提供すると共に、介護保険事業者としてサービスの質の向上や改善を行い、適切な事業運営に努めました。

6. 貸付事業による自立支援の推進

県社会福祉協議会受託事業の生活福祉資金及び市社会福祉協議会独自の貸付である社会福祉資金の貸付事業を推進し、貸付対象世帯の自立を支援しました。

Ⅲ ボランティア活動・市民活動の推進

ボランティア活動や市民活動を支援するために、ボランティア相談や登録並びに需要調整を実施しました。また、市民のボランティア活動への関心を高め、積極的なボランティア活動が展開されるよう各種養成講座を実施しました。

1. ボランティアセンターの運営

ボランティア団体、企業、学校など関係機関と幅広く連携し、相互のネットワークづくりの協働を促進すると共に、身近なボランティアに関する相談窓口として一層の機能充実を図りました。

IV 指定管理施設の管理・経営

施設の設置目的や特性、業務内容、運営実態等を踏まえて、住民福祉の増進を確保するとともに、より効果的、効率的かつ施設の機能を発揮できる管理・経営に努めました。

1. 指定管理施設の管理・経営

老人福祉センター(5施設)、地域活動支援センター(3施設)、総合福祉センター(2施設)、茂原健康交流センター(1施設)の効果的・効率的な管理・経営に努めました。

V 関係機関・団体等と協働・連携

地区社会福祉協議会を核として、地域を構成する自治会や地区民生委員児童委員をはじめ各種団体・関係機関等との連携を図り、協力体制づくりを進めました。

1. 関係機関・団体等と協働・連携

社会福祉協議会に関する各種団体・関係機関等と連携を図り、協力体制づくりに努めました。

VI 地域福祉を支える基盤の強化

地域の福祉課題に柔軟に応えるよう組織体制の整備を図り、地域福祉の効率的推進に取り組みました。また社会福祉協議会の役割や活動内容を積極的に働きかけることにより会員会費をはじめとする、自主財源の確保等を図り財務体質の強化に取り組みました。

1. 組織体制の強化

法人管理の適切な運営及び効果的、効率的な運営を図るため、理事会・評議員会・監事会・各種委員会を定期的で開催し、事業の点検・評価を通じてより効果的、効率的な事業推進に取り組みました。

2. 運営基盤の強化

地域福祉推進の財源となる普通会員・特別会員・賛助会員の拡大に努めるとともに、寄附金の受入及びぎんなん基金の適切な運用を推進し、自主財源の確保に努めました。

I. だれもが暮らしやすい地域づくりの推進

1. 地区社会福祉協議会への支援

(1) 地区社協会長研修会の開催

- 期 日 平成22年11月11日(木)～12日(金)
- 視 察 地 所沢市社会福祉協議会
- 視察研修内容 ・地区社協の組織体制及び運営について
・地区社協の活動について

(2) 地域別ブロック地区会長会議の開催

① 北部・上河内・河内ブロック会長会議

平成23年3月14日(月)

(協議事項)

第2次宇都宮市地域福祉活動計画(案)について

② 中央・東部ブロック会長会議

平成23年3月15日(火)

(協議事項)

第2次宇都宮市地域福祉活動計画(案)について

③ 南部・西部ブロック会長会議

平成23年3月16日(水)

(協議事項)

第2次宇都宮市地域福祉活動計画(案)について

(3) ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業への支援

① 会食事業費の助成

ひとり暮らしふれあい会食事業を実施した地区社協に対し、事業費の助成を行った。

○39地区社協(全地区)へ助成

② 「食中毒、食品衛生」講習会の開催

ふれあい会食事業に携わる地区の方々を対象に、食への安全・安心を図るために開催した。

○日 時 平成22年6月11日(金) 午後2時～午後3時30分

○会 場 宇都宮市総合福祉センター 大会議室

○参加者 117人 (前年比+66人)

(4) ひとり暮らし男性高齢者調理講習会事業を実施した地区社協への助成

○東地区	6回開催	参加者	延	72人	
○西地区	2回開催	参加者	延	33人	
○豊郷地区	5回開催	参加者	延	95人	
○篠井地区	1回開催	参加者	延	10人	
○城山地区	2回開催	参加者	延	38人	
○昭和地区	6回開催	参加者	延	84人	(平成22年度新規)
合 計			延	332人	(前年比+122人)

(5) 広報紙を発行した地区社協への助成

○上河内地区	2,700部発行
○河内地区	11,000部発行
○姿川地区	10,000部発行

(6) 地区福祉まつりを実施した地区社協への助成

○東地区	
○西地区	
○上河内地区	
○陽南地区	(平成22年度新規)
○河内地区	(平成22年度新規)

2. 福祉協力員の活動促進及び研修の実施

(1) 福祉協力員制度の推進

小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、福祉協力員を委嘱するとともに、福祉協力員連絡会への支援及び活動費の助成を行った。

地 区	協力員数	地 区	協力員数
中 央	44人	陽 南	45人
東	55人	緑ヶ丘	71人
西	48人	陽 光	50人
築 瀬	9人	宮 の 原	40人
西 原	54人	横 川	115人
昭 和	53人	瑞 穂 野	31人
錦	39人	雀 宮	89人
城 東	34人	五代若松原	33人
今 泉	43人	戸 祭	65人

泉が丘	51人	御幸	35人
峰	52人	御幸が原	45人
平石	10人	細谷	66人
石井	68人	篠井	10人
陽東	41人	富屋	17人
清原	91人	国本	57人
桜	56人	豊郷	114人
宝木	59人	上河内	39人
富士見	77人	河内	179人
明保	26人	合 計	2,230人 (前年比+11人)
城山	48人		
姿川	171人		

(2) 福祉協力員全体研修会の開催（平成22年度新規）

- 日 時 平成23年3月2日（水） 午後2時30分から午後4時
- 場 所 栃木県教育会館 大ホール
- 研修内容 福祉協力員による小地域見守り活動について
- 参加者数 550人

3. 在宅福祉サービス事業の充実・強化

(1) 福祉理美容サービス事業（出張費補助）

理美容店に出向くことが困難な在宅の寝たきり高齢者に対して、散髪を行った際の出張費の補助を行った。

- 申請者 70人 補助券125枚（利用枚数）（前年比-26枚）

(2) ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業

おおむね70歳以上のひとり暮らし高齢者の家庭に乳酸飲料を配達し、安否の確認と孤独感の解消を図った。

- 利用者 551人（前年比-8人）
- 配達本数 延 73,764本（前年比-7,693本）

(3) 在宅介護者のつどいの開催

在宅で高齢者や障がい者の介護にあたっている方々に対し、介護の技術や最新の介護機器・在宅福祉サービスの情報提供及び介護疲れを癒し、相互交流及び心身のリフレッシュを図るために実施した。

- 第1回 平成22年6月15日(火)
参加者 28人 場所 那須フラワーワールド
- 第2回 平成22年10月14日(木)～15日(金)
参加者 24人 場所 黒羽観光やな、りんご園等

(4) ファミリーケアサービス事業

日常生活を営むうえで支障のある、高齢者や障がい者等の世帯に対し家事援助などのサービスを実施した。

- 利用会員 85人 (前年比+1人)
- 協力会員 43人 (前年比+6人)
- 利用件数 3,483件 (前年比-500件)
- 利用時間 6,082時間 (前年比-1,021時間)
- サービス内容

掃除、食事の準備、洗濯、買い物、外出時の付き添い等

(5) 福祉車両貸出事業

身体機能の低下や障がいなどにより公共交通機関の利用が困難な方に、通院や各種行事への参加のために車いすのまま乗降できる福祉車両を無料で貸出した。

- 本所 延 84件 (前年比+10件)
- 上河内支所 延 14件 (前年比+5件)
- 河内支所 延 18件 (前年比-3件)

4. 第2次地域福祉活動計画の策定

前計画における成果と課題を分析し、近年の多様化した福祉ニーズを踏まえ、第2次福祉活動計画(平成22年度から平成24年度)を策定した。

- 第2次地域福祉活動計画策定委員会の開催 6回
- 第2次地域福祉活動計画策定懇談会の開催 2回

II. 安心して生活できる地域福祉の推進

1. 福祉拠点の充実強化

老人福祉センター(5施設)、地域活動支援センター(3施設)、総合福祉センター(2施設)、茂原健康交流センター(1施設)を地域の福祉拠点として、福祉情報の提供及び地域福祉事業等を行った。

- 総合相談センターの巡回相談の開設
- 各種地域福祉講座・講習会等の福祉情報の提供
- 車イス等の福祉機器の貸出

2. 福祉啓発活動の推進

定期的に福祉情報等の提供を行い、市民に社会福祉協議会の活動内容の理解を深めてもらうために、広報紙「うつのみや社協だより」を発行した。

- 第136号 平成22年 4月20日 23,000部発行
- 第137号 平成22年 7月 1日 23,000部発行
- 第138号 平成22年10月 1日 23,000部発行
- 第139号 平成23年 2月 1日 23,000部発行

3. 地域福祉サービス事業の充実・強化

(1) 総合相談センターの開設

地域住民の抱える生活・福祉問題等のさまざまな心配ごと、悩みごと等の相談に応じられるよう「総合相談センター」を開設した。

○生活福祉相談 月～金曜日

○巡回相談 毎月各1回

第1木曜日：ことぶき会館、第2木曜日：ふれあい荘、

第3木曜日：やすらぎ荘、第4木曜日：すこやか荘

第1火曜日：河内総合福祉センター、

第2火曜日：上河内老人福祉センター

○特別相談 毎月各1回

第3火曜日：法律相談、第3水曜日：心身障がい者相談、

第3木曜日：更生相談、第3金曜日：看護・介護相談

○相談内容

種 別	件 数	種 別	件 数
生計問題	91件	財産問題	184件
年金問題	8件	交通事故問題	26件
職業・生業問題	59件	児童福祉・母子保健問題	1件
住宅問題	36件	教育・青少年問題	2件
家族問題	223件	心身障がい者福祉問題	5件
結婚問題	59件	一人親福祉問題	4件
離婚問題	36件	高齢者福祉問題	17件
健康・衛生問題	18件	苦情問題	90件
医療問題	18件	その他	85件
精神衛生問題	83件	合 計	1,059件
人権・法律問題	14件		(前年比+144件)

※ 開設回数 延 359回 (うち 特別相談日 48回、巡回相談日 69回)

(2) 訪問介護員養成研修事業の実施（2級課程）

- 期 間 平成22年10月1日（金）～平成23年2月24日（木）
- 会 場 宇都宮市総合福祉センター・宇都宮短期大学・老人福祉施設等
- 修了者 37人 (前年比-3人)

(3) 福祉機器・介護用品展示室の開設

寝たきり高齢者等在宅介護者に福祉機器及び介護用品の情報を提供し、介護を容易にするため、福祉機器・介護用品展示室を開設した。

- 利用者数 延 213人 (前年比-41人)

(4) 援護事業の実施

- 行旅人に対する旅費の貸付

所持金紛失等により、目的地まで行くことのできない行旅人に対して、旅費（500円限度）を貸付した。

- ・行旅人 224人 112,000円 (前年比-83人)

(5) 身体障がい者福祉バス「友愛号」の運営（昭和54年5月1日受託）

障がい者の社会参加を促進するため、福祉バスの運行を行った。

- 利用状況

- ・稼働日数 192日 (前年比-8日)
- ・利用団体数 延 192団体 (前年比-8団体)
- ・利用人数 延 4,164人 (前年比-943人)

(6) 移送サービス事業

身体障がい者及び高齢者等で公共交通機関の利用が困難な者の便宜を図るため、医療機関・公共施設等への移送サービスを実施することにより、自立生活の支援を図った。

- 利用内容

登録者数	利用回数（延）	稼働日数	利用時間（延）	総走行距離
38人	202回	131日	510時間	6,947km

(前年比+1人)

(7) 障がい者生活支援事業「障がい者生活支援センター」

①宇都宮市障がい者生活支援センター(総合福祉センター)(平成14年10月1日受託)

②宇都宮市障がい者生活支援センター(子ども発達センター)(平成19年4月1日受託)

障がい者やその家族の地域における生活を支援することにより、在宅の障がい者の自立と社会参加の促進を図るため、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援等の相談支援及び、情報の提供を行った。

○相談支援を利用している障がい者(児)の数 延 830人 (前年比-27人)

○相談件数 延 2,961件 (前年比+1,180件)

○個別支援会議 28回開催 (前年比-18回)

(8) 地域包括支援センター

① 地域包括支援センター御本丸(平成18年4月1日受託)

○担当地区 中央地区・築瀬地区・城東地区

○総合相談支援事業

・相談者数 延 509人 (前年比+111人)

○高齢者等見守りネットワークシステム活動内容

	地域会議	見守り活動会議	安否確認状況
中央地区	1回	5回	該当者なし
築瀬地区	1回	6回	該当者なし
城東地区	1回	1回	45回

※ 安否確認は、地域での見守りを希望していない方を対象に実施。

○介護予防ケアマネジメント業務

・特定高齢者介護予防プラン作成件数 延 27件 (前年比±0件)

○介護予防支援事業

・介護予防サービス・支援プラン作成件数 延 1,290件 (前年比+69件)

うち、居宅介護支援事業者委託 202件

○認知症サポーター養成講座

7回開催(平成22年5月25日 他) 受講者数 延160名 (前年比+142人)

② 上河内地域包括支援センター(平成19年4月1日受託)

○担当地区 上河内地区

○総合相談支援事業

・相談者数 228人 (前年比+25人)

○高齢者等見守りネットワークシステム活動内容

	地域会議	見守り活動会議	安否確認状況
上河内地区	2 回	10 回	該当者なし

○介護予防ケアマネジメント業務

・特定高齢者介護予防プラン作成件数 延 94件 (前年比+79件)

○介護予防支援事業

・介護予防サービス・支援プラン作成件数 延 501件 (前年比+55件)
うち、居宅介護支援事業者委託 76件

○認知症サポーター養成講座

1回開催(平成22年7月27日) 受講者数 23人 (前年比-19人)

(9) 日中一時支援事業

① あっとほーむ・すずめ(平成16年4月1日受託/16年5月10日開所)

② あっとほーむ・かわち(平成19年4月1日受託/19年4月1日開所)

③ あっとほーむ・うだい(平成19年7月12日受託/19年7月19日開所)

○利用状況

・利用登録児・者 65人
・利用者数 延5,084人 (前年比+449人)

○施設別内容

(延利用人数)

区分	あっとほーむすずめ		あっとほーむうだい		あっとほーむかわち		合計
	開所日数	利用人数	開所日数	利用人数	開所日数	利用人数	利用人数
合計	243	1,418	230	1,585	241	2,081	5,084

(10) ゆうあいひろば (平成19年7月31日受託)

○利用状況

・開館日数 353日 (前年比-3日)
・利用者数 延75,253人 (前年比+307人)

○利用人数内訳

	人数
幼児	32,712人
小学生・中学生	11,170人
大人	31,371人
合計	75,253人

○事業開催状況

・工作教室の開催（七夕工作、ステンドグラス等）	151回	1,338人
・児童・青少年健全育成事業（よみきかせ等）	34回	1,219人
・ボランティア活用事業（おもちゃクリニック）	7回	220人
・季節行事の開催（クリスマス会、節分豆まき等）	5回	1,685人

4. 日常生活自立支援事業 権利擁護センター「あすてらす・うつのみや」

（平成11年10月1日受託）

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者などの方々に対し、安心して地域等で暮らせるよう相談に応じるとともに、金銭管理及び財産保全等のサービスを提供した。

○担当地区 宇都宮市・上三川町

○契約者数 101人 (前年比+1人)

○一般相談 毎週月曜日～金曜日 午前9時～午後4時

○専門相談 偶数月第2火曜日 午前10時～正午 (弁護士による相談)

○相談件数 延 3,114件 (前年比+444人)

○相談者内訳

区 分	相 談 件 数
認知症高齢者	1,762件
知的障がい者	353件
精神障がい者	820件
身体障がい者	146件
その他	33件
合 計	3,114件

5. 介護保険事業の実施

(1) 居宅介護支援事業

要介護者が居宅において自立した生活を営むために必要な居宅サービス等を適切に受けられるよう、居宅サービス計画や相談援助を実施した。

○介護度別利用者内訳（延人数） （単位：人）

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
宇都宮	27	91	117	205	52	100	10	602
上河内	6	45	143	177	160	73	39	643
河 内	2	12	117	89	190	27	46	483
計	35	148	377	471	402	200	95	1,728

（前年比－308人）

(2) 訪問介護事業

要介護者がその有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、訪問介護サービスを実施した。

○介護度別利用者内訳（延人数） （単位：人）

区 分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
宇都宮	111	54	0	37	22	224
上河内	62	75	28	43	9	217
計	173	129	28	80	31	441

（前年比－42人）

○サービス種別利用状況内訳（延回数） （単位：回）

区 分	生活援助	身体・生活	身体介護	合 計
宇都宮	1,268	770	578	2,616
上河内	2,100	1,274	791	4,165
計	3,368	2,044	1,369	6,781

（前年比＋202回）

(3) 介護予防訪問介護事業

要支援者が要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、訪問介護サービスを実施した。

○介護度別利用者内訳（延人数）（単位：人）

区 分	要支援 1	要支援 2	合 計
宇都宮	67	93	160
上河内	40	63	103
計	107	156	263

（前年比+36人）

○サービス種別利用状況内訳（延回数）（単位：回）

区 分	予防 1	予防 2	予防 3	合 計
宇都宮	567	892	0	1,459
上河内	264	248	23	535
計	831	1,140	23	1,994

（前年比+432回）

- ・ 予防 1：週 1 回の利用 ・ 予防 2：週 2 回の利用 ・ 予防 3：週 3 回の利用
（1 回の利用時間は、1 時間 30 分以内）

(4) 訪問入浴介護事業

要介護者がその有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、訪問入浴介護サービスを実施した。

○介護度別利用者内訳（延人数）（単位：人）

区 分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
上河内	5	15	14	16	26	76

（前年比+5人）

○利用状況内訳（延回数）（単位：回）

区 分	回 数
上河内	255

（前年比+7回）

(5) 介護予防訪問入浴介護事業

要支援者の要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、介護予防訪問入浴介護サービスを実施した。

○介護度別利用者内訳（延人数）（単位：人）

区 分	要支援 1	要支援 2	合 計
上河内	4	15	18

（前年比+11人）

○利用状況内訳（延回数）（単位：回）

区 分	回 数
上河内	75

（前年比+44回）

(6) 通所介護事業

要介護者がその有する機能に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、通所介護サービスを実施した。

○介護度別利用者内訳（延人数）（単位：人）

区 分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
河 内	582	545	512	167	92	1,898

※内入浴介助 1,717人（前年比-229人）

○サービス種別利用状況内訳（延人数）（単位：人）

区 分	3時間以上 4時間未満	4時間以上 6時間未満	6時間以上 8時間未満	合 計
河 内	4	3	1,891	1,898

（前年比-229人）

(7) 介護予防通所介護事業

要支援者がその有する機能に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、生活機能の維持又は向上をめざして介護予防通所介護サービスを実施した。

○介護度別利用者内訳（延人数）（単位：人）

区 分	要支援 1	要支援 2	合 計
河 内	340	502	842

（前年比+324人）

(8) 障がい者福祉サービス

居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、障害者自立支援法に基づき、訪問介護サービス及び通所介護サービスを実施した。

○訪問介護サービス利用者人数内訳（延人数）（単位：人）

区 分	人 数
宇 都 宮	2 2 0
上 河 内	7 7
合 計	2 9 7

（前年比+65人）

○訪問介護サービス利用内訳（延回数）（単位：回）

区 分	家事援助	身体介護	通院介助	合 計
宇 都 宮	1, 8 0 7	7 6 2	4 0	2, 6 0 9
上 河 内	4 9 0	1 1 2	3 1	6 3 3
合 計	2, 2 9 7	8 7 4	7 1	3, 2 4 2

（前年比+647回）

○通所介護サービス利用内訳（延人数）（単位：人）

区 分	4時間以上 6時間未満	6時間以上 8時間未満	合 計
河 内	0	6 4 0	6 4 0

（前年比+210人）

6. 貸付事業による自立支援の推進

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯などに対して、低利または無利子での資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、経済的自立や生活意欲の助長促進を図り、その世帯の安定した生活を確保するために実施した。

資 金 種 別	件 数	金 額
福祉資金	6 1 件	2 6, 6 0 6, 0 0 0 円
総合支援資金	1 5 3 件	1 2 3, 3 8 3, 8 0 4 円
教育支援資金	3 1 件	3 7, 6 5 1, 2 0 0 円
臨時特例つなぎ資金	3 6 件	3, 5 2 0, 0 0 0 円
緊急小口資金〔災害特例〕	1 7 件	2, 4 0 0, 0 0 0 円
合 計	2 9 8 件	1 9 3, 5 6 1, 0 0 4 円

（前年比+99件 26,499,420円）

※ 相談件数 718件

※ 緊急小口資金〔災害特例〕：平成23年3月17日より実施

(2) 社会福祉資金の貸付

一時的に生活費に困窮した低所得者世帯に対し、100,000円を限度に資金の貸付を行った。

○貸付件数	2件	(前年比+2件)
○償還件数	3件	(前年比-5件)
○現貸付件数	63件	(前年比-88件)

Ⅲ. ボランティア活動・市民活動の推進

1. ボランティアセンターの運営

(1) ボランティアセンター機能の充実強化及び支援

① ボランティアコーディネート相談事業

ボランティアの発掘及び育成支援を目的に、ボランティア相談並びにマッチングに努めた。

○各種相談・問合せ	9,302件	(前年比+60件)
○ボランティア活動調整件数	342件	(前年比+3件)
○ボランティア登録数(団体)	170団体	8,311人 (前年比+7団体125人)
	(個人)	110人 (前年比+5人)

② ボランティアへの活動支援

ボランティア育成、活動普及啓発のための研修会、交流会、広報活動等の支援のため、宇都宮ボランティア協会に対し助成金を交付した。

③ ボランティア活動機材の貸出

登録しているボランティア団体・個人を対象に、市内3か所においてボランティア活動に必要な機材を貸し出すことで、活動を支援した。

・延	211件	(液晶プロジェクター、テレビデオ、スクリーン等)	(前年比+20件)
----	------	--------------------------	-----------

④ ボランティアルームの貸出(平成22年度新規事業)

登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動拠点となる部屋の貸出しを行い、活動を支援した。

・延	227団体	1,463人
----	-------	--------

⑤ ボランティアロッカーの貸出(平成22年度新規事業)

登録しているボランティア団体を対象に、ロッカーの貸出しを行い、活動を支援した。

・利用	36団体
-----	------

⑥ 車いす等の貸出

一時的に車いすが必要となった方などに、市内10か所において原則3か月を限度に車いす等を貸し出した。

・349件（車いす、松葉杖等）（前年比-27件）

⑦ ボランティア体験活動の実施

ボランティア体験プログラムを実施し、ボランティア活動へのきっかけづくりを目的に、宇都宮市民活動サポートセンターと共催で実施した。

(エコキャップ集計・運搬)

○期 日	平成22年4月17日(土)、5月15日(土)、6月19日(土) 7月17日(土)、8月21日(土)、9月18日(土) 10月16日(土)、11月13日(土)、12月18日(土) 平成23年1月22日(土)、2月19日(土)、3月19日(土) 全12回	(前年比+7回)
○内 容	エコキャップ運搬活動を通し、ボランティア同士の交流を図った。	
○参加者	延 70人	(前年比-98人)
○個 数	13, 213, 600個	(前年比-541, 920個)
○キロ数	33, 034kg	(前年比-1, 354.8kg)
○ワクチン数	16, 517人分	(前年比-677人分)

⑧ 対面朗読サービスの実施（ボランティア活動実践事業）

視覚に障がいのある方等に対して、書籍・新聞など本人が希望する文書を対面にて読み上げる朗読サービスを、音訳ボランティアの協力により実施した。

○実施回数	42回	(前年比±0回)
(毎月第2・4水曜日及び土曜日)ほか利用者の希望により別途調整日含む		
○利用者数	延 22人	(前年比-17人)
○協力ボランティア数	延 78人	(前年比±0人)

⑨ ひとり暮らし高齢者友愛訪問の実施

○訪問者数	50人	(前年比-87人)
○活動内容	話相手、清掃など	

⑩ 第4回宇都宮市民福祉の祭典の開催

○主 催	宇都宮市民福祉の祭典実行委員会（宇都宮市社会福祉協議会 宇都宮ボランティア協会・宇都宮市等計10団体）	
------	--	--

○開催月日	平成22年11月23日(火) 勤労感謝の日	
○会場	総合福祉センター・中央生涯学習センター・まちかど広場 オリオンスクエア・宇都宮市役所14階大会議室	
○参加協力団体	92団体	(前年比+11団体)
○一般来場者	約10,000人	(前年比+500人)
○内容	表彰のほか、バザー、模擬店、障がい者の作品展示コーナー、 福祉書道展・絵画展、ボランティア相談コーナー、アトラク ション、血圧測定、介護相談、スタンプラリー、車いすダンス、 チャリティメイク、チャリティマッサージなど	

※ バザー、模擬店などで得た収益金及び各参加団体等からの協力金89,600円が「ぎんなん基金」に寄附された。

⑪ 要約筆記者派遣事業

聴覚障がい者等を対象に、日常生活を営むうえでコミュニケーションを必要とするときに、要約筆記者を派遣することにより社会参加を円滑にし、障がい者福祉の増進を図った。

○派遣依頼数	108件	(前年比+20件)
○活動筆記者数	123人	(前年比+5人)

⑫ 出前福祉講座の実施

学校及び企業等を対象に福祉講座を出前することで、福祉への理解と啓発を図った。

○実施回数	延 164回	(前年比-20回)
	(手話体験50回、アイマスク体験21回、点字体験39回、盲導犬育成講話7回、車いす体験32回、車いすバスケットボール体験5回、ボランティア講話6回、エコキャップ講話4回)	
○受講者	延 5,117人	(前年比-309人)

⑬ ボランティアの養成研修

ボランティア養成講座及び奉仕員養成講座を開催し、ボランティアの養成研修を行った。

種 別		内 容	開催期日	開催回数	受講人員 (延)	前年比
ボランティア入門講座 (月1ぼらんていあ Saturday)		ボランティア活動への興味・きっかけづくりのための入門講座	平成22年4月～平成23年3月までの土曜日	全8回	74人	-40名
				※1回は東日本大震災により中止		
外出支援ボランティア養成講座		障がい者や高齢者に対する外出支援ボランティア養成講座	平成22年9月8日～10月6日	全5回	60人	+26人
宮っ子ボランティアスクール		小学校4年生～6年生を対象にしたボランティアスクール	平成22年6月26日～7月10日までの土曜日	全3回	32人	H22 新規
サマーボランティアスクール		高校生・大学生等を対象にしたボランティアスクール	平成22年8月3日～5日	全4回	67人	+28人
災害福祉救援ボランティア養成講座		災害時におけるボランティア養成講座	平成23年1月15日～2月5日	全4回	81人	-55人
傾聴ボランティア養成講座		高齢者に対する傾聴ボランティア養成講座	平成23年2月2日～3月2日	全4回	66人	-32人
災害福祉救援ボランティアコーディネーター養成講座		災害時におけるボランティアコーディネーター養成講座	東日本大震災により中止			
手話奉仕員養成講座	入 門	手話の基礎知識と実技	平成22年5月～9月の毎金曜日	全18回	340人	+38人
	基 礎	手話の応用知識と実技	平成22年9月～平成23年3月の毎金曜日	全23回	325人	+71人
点訳奉仕員養成講座	入 門	点訳の基礎知識と実技	平成22年5月～10月の毎月曜日	全20回	284人	-36人
	中 級	点訳の応用知識と実技	平成22年10月～平成23年3月の毎月曜日	全20回	267人	-23人
音訳奉仕員養成講座	初 級	音訳の基礎知識と実技	平成22年5月～8月の毎水曜日	全15回	264人	+62人

	中級	音訳の応用知識と実技	平成22年9月～平成23年2月の毎水曜日	全15回	328人	+72人
要約筆記奉仕員養成講座	手書き	基本	要約筆記の基礎知識と実技	平成22年5月～9月の毎木曜日	全13回	16人 ±0人
		応用	要約筆記の応用知識と実技	平成22年9月～11月の毎木曜日	全10回	10人 ±0人
	パソコン	基本	パソコン要約筆記の基礎と実技	平成22年5月～9月の毎木曜日	全13回	47人 -12人
		応用	要約筆記の応用知識と実技	平成22年9月～11月の毎木曜日	全10回	19人 -10人

⑭ 善意銀行の受払い状況

○預託金

項目	金額	備考	前年比
前年度繰越金	3,814,023円		
預託金受入	90,759円	5件	-51,241円
使用済み切手換金	70,757円		-7,243円
プルタブ換金	77,448円		+5,313円
合計	4,052,987円		

預託金払出	20,000円	預託者の指定 (1件)	-92,000円 (-2件)
	160,000円	火災見舞金 (16件)	+70,000円 (+7件)
払出合計	180,000円		-22,000円

次年度繰越金	3,872,987円		+58,964円
--------	------------	--	----------

○預託品

電動ベット、車いす、タオル、マットレス、紙おむつ等56件の預託品を受け入れし、60件の払い出しをした。(前年比+9件)

使用済み切手・テレホンカード、プルトップ、エコキャップ等1,330件の預託を受けた。(前年比+51件)

IV. 指定管理施設の管理・経営

1 指定管理施設の管理・経営

(1) 老人福祉センター

ことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘

(指定管理期間 平成 21 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

上河内老人福祉センター(指定管理期間 平成 18 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

①ことぶき会館

○利用状況

・開館日数 280日 (前年比-10日)

・利用者数 81,835人 1日平均 292人 (前年比-4,513人)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		9,280人
教養講座		12講座 282回 8,801人
健康相談等	血压測定	1,164人
	健康相談	1,173人
	応急処置	21人
	健康器具利用	22,692人

※1 平成 22 年度は東日本大震災の影響により、3 月 12 日より 3 月 31 日まで臨時休館

○その他

ことぶき文化祭の開催 平成 22 年 11 月 13 日(土)～14 日(日)

ことぶき健康みんなの大学(健康講話・健康チェック等)の開催 52回

交通安全講話の開催(管轄警察署協力)

ボランティア団体等の受入(ウクレレワイキキ演奏会・民謡発表会・映画鑑賞会等)

②ふれあい荘

○利用状況

- ・開館日数 278日 (前年比-16日)
- ・利用者数 45,506人 1日平均163人 (前年比-3,530人)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		1,681人
教養講座		12講座 256回 4,129人
健康相談等	血压測定	3,309人
	健康相談	95人
	応急処置	0人
	健康器具利用	12,769人

※1 平成22年度は東日本大震災の影響により、3月12日より3月31日まで臨時休館

○その他

- ふれあい祭の開催 平成22年10月20日(水)～21日(木)
- ふれあい音楽祭の開催 4回
- 健康づくり講座の開催 2回
- 囲碁将棋自主講座交流大会の開催 1回
- 交通安全講話の開催 (管轄警察署協力)
- ボランティア団体等の受入 (映画鑑賞会)

③やすらぎ荘

○利用状況

- ・開館日数 278日 (前年比-15日)
- ・利用者数 43,047人 1日平均155人 (前年比-1,891人)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		6,574人
教養講座		19講座 424回 6,977人
健康相談等	血压測定	3,197人
	健康相談	1,120人
	応急処置	14人
	健康器具利用	17,408人

※1 平成22年度は東日本大震災の影響により、3月12日より3月31日まで臨時休館

○その他

- やすらぎ祭の開催 平成22年10月24日(日)～25日(月)
- 健康講話の開催 2回
- 敬老の日 地域中学校演奏会及び交流会の開催
- 交通安全講話の開催 (管轄警察署協力)
- ボランティア団体等の受入 (鍼灸相談・民話発表・映画鑑賞会等)

④すこやか荘

○利用状況

- ・開館日数 278日 (前年比-16日)
- ・利用者数 61,670人 一日平均222人 (前年比-3,926人)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		8,213人
教養講座		16講座 369回 9,520人
健康相談等	血圧測定	1,419人
	健康相談	18人
	応急処置	42人
	健康器具利用	22,313人

※1 平成22年度は東日本大震災の影響により、3月12日より3月31日まで臨時休館

○その他

- すこやか荘祭の開催 平成22年11月12日(金)～13日(土)
- 健康講話の開催 1回
- 交通安全講話の開催 (管轄警察署協力)
- 地域児童との世代間交流事業の開催
- ボランティア団体等の受入 (ハモニカ演奏会・軽音楽演奏会・民話発表・映画鑑賞会等)

⑤上河内老人福祉センター

○利用状況

- ・開館日数 230日 (前年比-15日)
- ・利用者数 4,072人 一日平均18人 (前年比-188人)

区 分		内 訳
教養講座		2講座 36回 334人
健康相談等	血圧測定	666人
	健康相談	267人
	応急処置	0人
	健康器具利用	851人

※1 平成22年度は東日本大震災の影響により、3月12日より3月31日まで臨時休館

※2 平成22年度より、健康相談医依頼及び看護職員を配置

○その他

- 上河内老人福祉センター祭の開催 平成22年10月23日(土)
- 健康体操の開催 11回
- 健康講話の開催 1回
- 交通安全講話の開催 (管轄警察署協力)

(2) 障がい者福祉センター（指定管理期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日）

① 講座事業

○利用状況

・利用登録者数 130人 (前年比+3人)

区 分	内 訳
講座事業	12講座
	355回
	3,318人

※1 平成22年度は東日本大震災の影響により、3月12日より休講

○年間行事等

野外療育訓練の開催 2回

地域活動支援センターとの交流会の開催 2回

宇都宮ふれあい文化祭・宇都宮市民福祉の祭典・カルフルとちぎへの参加

作品展の出展（市民プラザ・市役所ロビー・中央生涯学習センター）

出前講座（パンフラワー短期講座）の開催 2回

② 地域活動支援センター事業

○利用状況

・利用登録者数 10人 (前年比+2人)

○年間行事等

野外療育訓練の開催 1回

講座事業との交流会の開催 2回

宇都宮市民福祉の祭典への参加

音楽療法・自走訓練・買い物訓練・レクリエーション等の実施

③ 医療生活相談

○相談状況

・開催回数 9回 (前年比+1回)

・利用者数 10人 (前年比+2人)

(3) 地域活動支援センター

雀の宮作業所・若草作業所（指定管理期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日）

① 雀の宮作業所

○利用状況

- ・開所日数 243日 (前年比±0日)
- ・利用登録者数 19人 (前年比+1人)
- ・利用者数 延 3,027人 (前年比-161人)

② 若草作業所

○利用状況

- ・開所日数 243日 (前年比-1日)
- ・利用登録者数 18人 (前年比±0人)
- ・利用者数 延 3,171人 (前年比-107人)

○生産活動の機会の提供

電機部品の組立・菓子箱の組立・文書の封筒詰め及びシール貼り等

○社会参加・自立促進

野外レクリエーション・社会見学・クリスマス会等の開催

宇都宮市民福祉の祭典・宇都宮ふれあい文化祭・栃木県障がい者スポーツ大会等への参加

(4) 総合福祉センター

宇都宮市総合福祉センター（指定管理期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日）

河内総合福祉センター（指定管理期間 平成18年4月1日～平成23年3月31日）

① 宇都宮市総合福祉センター

○利用状況

- ・開館日数 342日 (前年比-2日)

区 分	内 訳
会議室等利用者	102,277人
	5,436団体
電子健康機器利用者	9,096人

(前年比+20,965人)

(前年比+369団体)

(前年比-106人)

②河内総合福祉センター

○利用状況

・開館日数 297日 (前年比±0日)

区 分		内 訳	
会議室等利用者		11,484人	(前年比-1,038人)
		544団体	(前年比-46団体)
大広間等利用者		28,147人	(前年比+268人)
浴室利用者	60歳以上	18,843人	
	60歳未満	415人	
	障がい者	56人	
	子ども	60人	
電子健康機器利用者		10,552人	(前年比-1,177人)
送迎バス利用者		2,775人	(前年比+129人)

※1 会議室等利用状況は、団体室・ボランティア室・朗読室含

※2 平成22年度は東日本大震災の影響により、3月12日より3月31日まで3階大広間及び浴室は、利用中止

(5) 茂原健康交流センター（指定管理期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日）

○利用状況

・開館日数 266日 (前年比-15日)

・利用者数 151,755人 一日平均571人 (前年比-12,751人)

区 分		内 訳
有 料	一般	38,146人
	高齢者	65,723人
	子ども	7,122人
減 免	障がい者	22,317人
	介護者	9,941人
無 料	3歳未満	547人
	中学生以下	7,959人

※1 平成22年度は東日本大震災の影響により、3月12日より3月31日まで臨時休館

※2 毎週土曜日は中学生以下無料

※3 上記人数には、オープン記念・敬老の日の無料開放の人数は含まず。

○その他

高齢者健康づくり講座の開催

(水中運動教室 24回 500人参加 ・ 体操教室 24回 399人参加)

高齢者いきがづくり事業の開催 (サークル発表場の提供 11回)

健康づくり教室の開催 (体操教室 11回 177人参加)

感謝イベント等の開催

イベント名	期 日	内 容	人数
こどもの日無料開放	平成 22 年 5 月 5 日 (水)	中学生以下無料	138 人
オープン記念日無料開放	平成 22 年 8 月 11 日 (水)	全員無料	746 人
敬老の日無料開放	平成 22 年 9 月 20 日 (月)	75 歳以上無料	85 人
クリスマスイベント	平成 22 年 12 月 25 日 (土)	抽選くじによるお菓子プレゼント	40 人

V. 関係機関・団体等と協働・連携

1. 関係機関・団体等と協働・連携

(1) 各種行事助成

○第 4 回宇都宮市民福祉の祭典 (宇都宮市民福祉の祭典実行委員会) 250,000 円

(2) 各種団体に対する補助

○宇都宮市遺族会連合会 725,000 円

○宇都宮介護者の会 50,000 円

(3) 各種事業に対する共催・後援

事 業 内 容	団 体 名	区 分
宇都宮市敬老会	宇都宮市・地区社会福祉協議会	共 催
第 4 回宇都宮市民福祉の祭典	宇都宮市・宇都宮ボランティア協会他	〃
第 3・4 回松本和将ピアノリサイタル	松本和将さんを応援する会	後 援
ふるさと再考キャンペーン映画「寒川」上映会	NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房	〃
「奇跡の心理学講座」～その理解と対応～ 第 1 回深刻化する家庭の病理	NPO 法人こころとまなびどっとこむ	〃
まちかどVネット	特定非営利活動法人とちぎボランティア ネットワーク	〃
平成 22 年度福祉レクリエーションセミナー	栃木県レクリエーション協会	〃
良好な人間関係を作るためのコツ「自分でできる対人間関係療法」	家族相談室・エコーズ	〃
第 29 回栃木県障害者卓球選手権大会	栃木県障害者卓球連盟	〃
日本自閉症スペクトラム学会第 9 回研究大会	日本自閉症スペクトラム学会 宇都宮大会 準備委員会	〃
ピンクリボン (乳がん予防) キャンペーン	栃木県健康管理士会	〃
10 周年記念「さぼせんまつり」	宇都宮市民活動サポートセンター	〃

事業内容	団体名	区分
第93・95・96回チャリティートチギアートオークション	栃木美術倶楽部 有限会社匠堂宇都宮	後援
団鬼の世代への次世代育成推進セミナー	NPO法人ニッポンアクティブライフクラブ栃木拠点「とちの実会」	〃
第6回栃木・吃音を考えるつどい	栃木言友会	〃
「最先端の心理学講座」第2回ST気質の理解と対応	NPO法人ころまなびどっとこむ	〃
第13回星の家まつり	特定非営利活動法人青少年の自立を考える会 第13回星の家まつり実行委員会	〃
第17回岡本台病院ふれあいまつり	栃木県立岡本台病院 第17回岡本台病院ふれあいまつり 企画運営委員会	〃
宇都宮共和大学 子ども生活学部開設記念 地域福祉公開講座	宇都宮短期大学	〃
第14回青少年の自立を支える会コンサート	第14回青少年の自立を支える会コンサート実行委員会	〃
獨協医科大学認知症疾患医療センター講演会	獨協医科大学認知症疾患医療センター	〃
第30回花彩夢展	日本原色押花福祉協会栃木支部	〃
第41回関東地区グランドソフトボール大会(栃木大会)兼第11回全国障害者グランドソフトボール競技関東地区予選会	社団法人栃木県視覚障害者福祉協会	〃
五家英子車椅子寄贈400台達成記念チャリティー歌謡ショー	五家英子車椅子寄贈400台達成記念並びにチャリティー歌謡ショー実行委員会	〃
第6回とちぎYMCAチャリティーラン	財団法人とちぎYMCA とちぎYMCAチャリティーラン運営委員会	〃
尚徳有隣会将来構想委員会中間報告発表シンポジウム	更生保護法人尚徳有隣会	〃

VI. 地域福祉を支える基盤の強化

1. 組織体制の強化

(1) 会務の運営

① 理事会の開催

○ 平成22年5月21日（金）

（議 事）

- ・ 評議員の委嘱について
- ・ 宇都宮市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- ・ 平成21年度 宇都宮市社会福祉協議会事業報告について
- ・ 平成21年度 宇都宮市社会福祉協議会収支決算について

○ 平成22年11月5日（金）

（議 事）

- ・ 平成22年度 宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について

○ 平成23年3月17日（木）

（議 事）

- ・ 宇都宮市社会福祉協議会定款の一部改正について
- ・ 宇都宮市社会福祉協議会役員選任規程の一部改正について
- ・ 宇都宮市社会福祉協議会評議員選任規程の一部改正について
- ・ 宇都宮市社会福祉協議会上河内事業所指定居宅介護支援事業運営規程の廃止について
- ・ 宇都宮市社会福祉協議会河内事業所指定居宅介護支援事業運営規程の廃止について
- ・ 宇都宮市社会福祉協議会上河内事業所指定訪問介護事業運営規程の廃止について
- ・ 宇都宮市社会福祉協議会上河内事業所指定介護予防訪問介護事業運営規程の廃止について
- ・ 宇都宮市社会福祉協議会上河内事業所指定障害福祉サービス居宅介護運営規程の廃止について
- ・ 宇都宮市社会福祉協議会河内事業所指定通所介護事業運営規定の一部改正について
- ・ 宇都宮市社会福祉協議会河内事業所指定介護予防通所介護事業運営規定の一部改正について
- ・ 評議員の委嘱について
- ・ 平成22年度宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について
- ・ 平成23年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について
- ・ 平成23年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について

○ 平成23年3月28日（月）

（議 事）

- ・ 正副会長の選任について

②監事会の開催

○ 平成22年5月14日（金）

（監 査）

- ・平成21年度事業執行状況及び会計処理状況について

③評議員会の開催

○ 平成22年5月25日（火）

（議 事）

- ・理事の選任について
- ・宇都宮市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- ・平成21年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について
- ・平成21年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について

○ 平成22年11月17日（水）

（議 事）

- ・平成22年度宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について

○ 平成23年3月28日（月）

（議 事）

- ・宇都宮市社会福祉協議会定款の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会役員選任規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会評議員選任規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会上河内事業所指定居宅介護支援事業運営規程の廃止について
- ・宇都宮市社会福祉協議会河内事業所指定居宅介護支援事業運営規程の廃止について
- ・宇都宮市社会福祉協議会上河内事業所指定訪問介護事業運営規程の廃止について
- ・宇都宮市社会福祉協議会上河内事業所指定介護予防訪問介護事業運営規程の廃止について
- ・宇都宮市社会福祉協議会上河内事業所指定障害福祉サービス居宅介護運営規程の廃止について
- ・宇都宮市社会福祉協議会河内事業所指定通所介護事業運営規定の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会河内事業所指定介護予防通所介護事業運営規定の一部改正について
- ・理事の選任について
- ・平成22年度宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について
- ・平成23年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について
- ・平成23年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について

④事業経営委員会の開催

○平成23年3月11日（金）

（協議事項）

- ・指定管理施設管理経営状況について
- ・指定管理施設の課題と今後の取り組みについて
- ・介護保険事業等の経営状況について
- ・介護保険事業等の課題と今後の取り組みについて

（その他）

- ・第2次宇都宮市社会福祉協議会地域福祉活動計画（案）について

⑤ぎんなん基金運営委員会の開催

○平成23年3月11日（金）開催予定

※東日本大震災の発生により、委員会は中止。後日、各委員に承認をいただきました。

（報告事項）

- ・平成22度ぎんなん基金活用状況、寄附及び積立金の運用状況について

（協議事項）

- ・平成23度ぎんなん基金活用計画（案）について
- ・ぎんなん基金の課題について
- ・ぎんなん基金の今後の取り組みについて

（その他）

- ・第2次宇都宮市社会福祉協議会地域福祉活動計画（案）について

⑥ボランティアセンター運営委員会の開催

○平成23年3月11日（金）開催予定

※東日本大震災の発生により、委員会は中止。後日、各委員に承認をいただきました。

（報告事項）

- ・平成22年度ボランティアセンター運営状況について

（協議事項）

- ・ボランティア登録者数について
- ・ボランティアセンターの今後の取り組みについて
- ・平成23年度ボランティアセンター運営方針（案）について

（その他）

- ・第2次宇都宮市社会福祉協議会地域福祉活動計画（案）について

⑦歳末たすけあい事業見直し検討委員会の開催

○平成22年11月25日（木）

（報告事項）

- ・平成21年度歳末たすけあい運動募金実績について
- ・平成21年度歳末たすけあい運動配分事業実施要項及び配分実績について

（協議事項）

- ・平成22年度歳末たすけあい運動配分事業実施要項（案）について

2. 運営基盤の強化

(1) 組織の強化

○社協会員の加入促進に努め、その結果は次のとおりである。

地 区	合 計		地 区	合 計			
	会 員 数	会 費(円)		会 員 数	会 費(円)		
中央ブロック	中 央	1,563	660,500	南部ブロック	陽 南	2,823	847,000
	東	1,860	577,700		緑が丘	2,617	804,901
	西	1,967	609,950		陽 光	1,530	351,650
	築 瀬	1,894	568,260		宮の原	1,583	475,000
	西 原	1,542	484,750		横 川	5,239	1,687,750
	昭 和	2,069	620,980		瑞穂野	1,878	563,400
	錦	1,475	422,400		雀 宮	9,291	2,144,300
東部ブロック	城 東	1,629	488,700	五代若松原	1,643	493,000	
	今 泉	1,515	454,700	北部ブロック	戸 祭	2,757	875,030
	泉が丘	1,989	596,800		御 幸	1,938	581,450
	峰	2,160	648,120		御幸が原	2,265	674,100
	平 石	827	248,200		細 谷	3,964	1,204,000
	石 井	2,775	832,600		篠 井	717	203,000
	陽 東	1,847	554,139		富 屋	909	272,850
	清 原	5,880	2,248,700		国 本	3,327	1,010,900
桜	1,805	617,000	豊 郷		8,451	2,535,300	
西部ブロック	富士見	3,272	1,008,201	上河内	2,372	711,800	
	明 保	1,350	405,100	河 内	7,420	2,261,920	
	宝 木	4,113	1,247,590	事務局	486	3,446,500	
	城 山	3,518	1,055,400	合 計	114,003	37,816,661	
	姿 川	7,743	2,323,020				

○過去5年間における会費の状況は、次のとおりである。

区分		年度				
		平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度	平成 19 年度	平成 18 年度
合 計	会員数	114,003	110,264	111,566	113,016	101,358
	会費(円)	37,816,661	37,689,408	38,117,836	38,484,355	34,890,734
会費前年度比 (%)		+0.3	-1.1	-1.0	+10.3	-2.0

(2) ぎんなん基金寄附金状況

161件（企業、団体、個人等） 3,238,388円
 （前年比-42件 -2,843,296円）

(3) 各種募金等

○共同募金、日赤社資募集、歳末たすけあい募金の結果は、次のとおりである。

（単位：円）

地区		区分	共 同 募 金	日赤社資募集	歳末たすけあい募 金
中央ブロック	中 央		505,200	761,400	306,940
	東		564,420	835,090	397,330
	西		552,753	796,820	381,400
	築 瀬		585,915	871,300	383,080
	西 原		524,181	671,300	313,050
	昭 和		613,106	742,310	390,062
	錦		441,615	756,850	295,400
東部ブロック	城 東		488,700	814,500	337,600
	今 泉		348,400	503,340	265,100
	泉が丘		705,940	973,350	415,170
	峰		653,472	938,340	427,040
	平 石		299,310	441,400	181,400
	石 井		464,050	694,760	360,200
	陽 東		641,541	758,464	362,791
清 原		1,924,560	2,828,000	1,166,600	
西部ブロック	桜		675,881	854,800	498,053
	宝 木		1,415,983	2,029,640	889,542
	富士見		1,134,776	1,488,060	671,680
	明 保		412,170	650,370	263,600
	城 山		1,020,798	1,351,500	732,070
	姿 川		2,506,704	3,377,907	1,587,430

南部ブロック	陽南	722,700	881,700	397,700
	緑が丘	805,860	1,261,360	553,290
	陽光	322,198	465,650	297,785
	宮の原	483,600	780,500	327,800
	横川	1,566,967	2,068,550	985,384
	瑞穂野	509,550	774,800	345,815
	雀宮	2,238,020	3,085,170	1,577,460
	五代若松原	346,360	473,200	283,574
北部ブロック	戸祭	916,758	1,198,910	552,860
	御幸	433,300	844,650	425,900
	御幸が原	576,216	883,717	531,203
	細谷	1,233,495	1,563,629	760,451
	篠井	194,580	279,500	121,200
	富屋	352,351	415,400	187,725
	国本	1,074,580	1,628,400	650,400
	豊郷	2,513,896	3,301,540	850,190
上河内	767,799	1,103,500	470,280	
河内	2,236,203	2,936,651	1,447,902	
事務局	5,562,075	500	2,240	
実績額合計	39,335,983	47,086,828	21,394,697	
目標額	41,454,000	58,597,000	—	
達成率	94.9%	80.4%	—	
前年比	+24,803	-1,028,588	-297,597	

○歳末助け合い募金配分内訳

【収入】

配分財源内訳	金額
募金実績額	21,394,697 円
県共同募金会交付金（前年度剰余金）	12,288,886 円
配分財源合計	33,683,583 円

【支出】

配分金内訳		施設・団体	金額
(1)施設歳末たすけあい事業	障がい者・高齢者	59 施設	3,345,220 円
	民間保育園	24 施設	442,200 円
(2)団体歳末たすけあい事業		11 団体	670,000 円
(3)地域歳末たすけあい事業		39 社協	6,837,827 円
(4)地域福祉活動事業	敬老会助成	39 社協	3,120,000 円
	福祉協力員活動助成	39 社協	4,048,000 円
配分金合計			18,463,247 円

※剰余金（次年度に県共同募金会より再交付の予定） 15,220,336 円